

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2013.02.11－02.22

＊記事は東京発行・最終版

CHINA

2月11日(月)

オークマ、工場を拡張
旋盤・MC / 北京・台北

オークマは、中国・北京市と台湾・台北市の工場を拡張する。北京は旋盤とMCの生産能力を月40台程度向上。台北は月100台超向上させる。総投資額は30数億円。2013年中に着工する。(1面)

中央発條、湖北省に新工場
懸架バネ月3万本 / 華南の車向け

中央発條は、中国・湖北省に自動車の懸架バネの工場を2014年5月に設置。月間3万本。現地バネメーカーの上海中国彈簧製造と折半出資の合弁会社。華南地域の自動車メーカー向け。(6面)

NEC、光一百貨店にPOS
中国工商銀行と販売協業契約

NECは、中国工商銀行とPOS端末の販売協業契約を締結した。中国工商銀行は中国4大商業銀行の一角。第1弾として現地大手の光一百貨店に納入。3年間で10万台の販売を目指す。(9面)

2月13日(水)

三桜工業、10工場新設
中国・インドなど / 車用配管部品

三桜工業は、車用配管部品の新工場を新興国中心に10カ所に建設する。中国やインド、ロシア、メキシコなど6カ国に

インドネシアは魅力的な投資先だが、労務管理で課題がある(18日付・写真はイメージ＝ブルームバーグ)



年産10万 20万台分の工場を建設。日産など車メーカー向け。(1面)

ヤクルト、天津に第2工場棟
中国で日量687万本体制

ヤクルト本社は、中国で乳酸菌飲料「ヤクルト」の生産能力を増強する。広州工場の第2工場着工に続き、天津工場内に第2工場棟を建設、2014年6月稼働。中国全体で日量687万本に。(15面)

2月14日(木)

第一生命、合併設立を解消
中国華電集団 / 参入方針は継続
第一生命保険は、中国華電集団と進め

ていた合弁会社設立準備の基本合意を解消した。事業計画を含む経営方針の相違が発生、最終合意に至らなかった。第一生命は引き続き中国参入を目指す。(19面)

2月15日(金)

中国での介護ビジネス参入支援
大商 / ノウハウ・介護機器

大阪商工会議所は、中国での介護ビジネス参入を支援する事業に2013年度に乗り出す。介護施設のノウハウや介護機器・技術・サービスの展開の可能性を探り参入を後押しする。(27面)

2月19日(火)

三菱電機、放電加工機15%増
中国・ASEANの金型に照準
三菱電機は、2014年3月期の放電加工機を15%増の2300台に設定した。海外向けが78割。ワイヤ放電加工機の世界戦略機を軸に、中国やASEANの金型、部品加工の需要を取り込む。(6面)

基幹業務システムを安価に刷新
日立ソリュ / 中国IT企業と共同
日立ソリューションズは、中国のIT企業と共同で、NLTテクノロジーの基幹業務システムを刷新。米オラクルのERPを活用。中国企業のERPノウハウを応用して開発費を抑えた。(9面)

2月20日(水)

対中貿易赤字、400億ドル突破
2012年輸出10.4%減

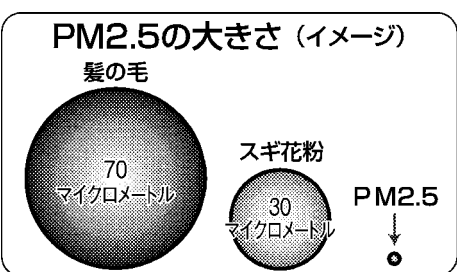
2012年の日中貿易は日本側が442億ドルの赤字と、初めて400億ドルを突破した。中国生産の拡大や不買運動、中国経済の減速などが響き、中国向け輸出が10.4%減少した。ジェトロが発表。(3面)

Jパワー、海外発電プロ加速
中国に最新鋭技術で石炭火力

海外展開を加速するJパワーが、中国で大型プロジェクトをスタート。広西チワン族自治区賀州市に、現地の電力会社などと最新鋭の石炭火力技術・超々臨界圧を用いた発電所を立ち上げ。(15面)

2月21日(木)

「PM2.5」対策急ピッチ
中国から「越境」
微小粒子状物質「PM2.5」が中国か



PM2.5の環境基準		
	年平均値	1日平均値
中国	35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	75 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
日本 / 米国	15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
WHO指針	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	25 $\mu\text{g}/\text{m}^3$

注：中国は12年2月、PM2.5の基準を設定

ら偏西風に乗って「越境」。日本列島に飛来。濃度を監視するための測定器の整備など環境省は急ピッチ対策。商機を見いだそうという動きも。(深層断面＝32面)

井関農機、中国・北米に攻勢
汎用型コンバインを新規投入

井関農機は、中国と北米市場を中心に2013年度に攻勢を掛ける。中国では半自動タバコ移植機の本格販売を始めるほか、水稲、麦、菜種などに対応する汎用型コンバインを新規投入する。(7面)

眼科検査機器を日本で増産
中国工場の新設撤回 / トプコン

トプコンは、中国の光学機器工場の新設計画の中止に伴い、現地で増産予定だった視力測定や眼科検査機器を日本国内で生産する。トプコン山形で増産し、月産で数百台を上乗せする。(13面)

プロント、上海に中国第1号店
日本同様カフェ パー

プロントコーポレーションは、中国での第1号店「プロント上海店」を3月5日にオープンする。日本の店舗と同様に朝から夕方までがカフェ、夜の時間帯がバーと二毛作営業形態をとる。(21面)

2月22日(金)

TOTO、若手社員を海外駐在
中国・欧州 / 1人で市場開拓

TOTOは、30歳前後の社員を海外駐在させる制度を2013年度に始める。中国や欧州の拠点で1年間語学や商慣行を学び、2年目以降は営業拠点のない地域に1人で常駐して市場開拓する。(3面)

ミシン・産口ボ、中国で攻勢
蛇の目 / 450億円規模に

蛇の目ミシン工業は、新興国での家庭用ミシンと産業用ロボットの需要増で、2016年3売上高を450億円に拡大する。ミシンはロシアや中国で低価格製品。産口ボは中国EMS向け。(7面)

ひと
復活のめど

「中国での不買運動による販売減の回復を見込んでいる」と富士重工取締役専務執行役員の高橋充さん。一度、下方修正した計画を引き上げた。2012年12月は前年同月比20%増、1月は同27%増。マイナスが続く他のメーカーを尻目に「復活のめどが立った」。(14日＝5面)

と同12ヶ月2モデル。(5面)

インドネシアに新工場
サンライズ工業 / 部品月5万台分

サンライズ工業は、インドネシアにカーエアコン用ホース口金生産の新工場を完成、生産を開始した。月間5万台分。日本を含めアジアの自動車生産国すべてで現地生産体制を実現。(5面)

遠藤照明、インド・タイ投入
LED照明 / 価格抑え現地仕様

遠藤照明は、インドとタイで、オフィス工場で使う直管形LED照明を2013年度中に販売する。価格を日本仕様の2分の1から3分の1に抑えた海外モデルを投入。(8面)

三井化学、韓国レンズ材買収
中・高屈折率モノマー

三井化学は、韓国プラスチック製メガネレンズ材料大手・KOCソリューションを買収する。KOCの中・高屈折率モノマーを加えて製品群を充実させる。また中国拠点の活用も。(12面)

2月22日(金)

タイでCPVC樹脂生産
積水化学 / 世界首位と合併

積水化学工業は、塩素化塩化ビニル樹脂製造でタイに進出する。CPVC樹脂で世界シェア首位の米ルーブリゾールと製造合弁会社を2013年後半に設立。単独でコンパウンド製造拠点も。(10面)

タイ企業株のファンド新設
大和証券投信

大和証券投資信託委託は、タイ企業の株式に投資する投資信託を設定して、運用を始める。インフラ整備など3要因に関連して成長が期待できるタイ企業に投資する。(15面)

鉛フリーハンダの共同研究
日本スベリア / マレーシアの大学

日本スベリア社は、マレーシアのマレーシアペルリス大学と、鉛フリーハンダの共同研究を4月始める。半導体用の新しい鉛フリー接合材料などの開発を目指す。期間は3年。(27面)

TELOP

KYB、インドでミキサー車
現地建機大手に出資(13日6面)

東南ア最大風力発電が全面稼働
中部電力 / タイ(13日14面)

インド国営銀行と提携
京都銀行・南都銀行など(14日19面)

デリー空港に事務所
近鉄エクスプレス(15日13面)

丸紅、ミャンマー駐在員を増員
ヤンゴン10人規模(22日3面)

ひと
インドは環境調和重視

「多くの技術を選んでもらい、うれしく思う」とインド鉄鋼省次官補のタリッパ・シンさん。環境・省エネ技術の会合で来日。粗鋼生産で世界4位のインド。今後の成長率が最も高いとみられている。「印日がクリーンな技術で発展したい」と環境調和重視を強調。(11日＝10面)

ASIA

2月11日(月)

パナソニック、タイで断熱材
冷蔵庫向け / 白物の収益強化

パナソニックは、タイで真空断熱材の生産を3月に始める。冷蔵庫用を中心に初の海外生産に乗り出す。現在は全量を国内生産。デバイスの外販を進め白物家電事業の収益基盤強化に。(8面)

愛知電機、インドネシアに工場
変圧器 / 東南ア供給

愛知電機は、変圧器などの電力機器でインドネシアに工場進出する。2013年をめぐりにタイの変圧器メーカー・TMEと合併。インドネシア国内やカンボジアなど東南アジアに供給する。(8面)

炭素繊維 - スポーツ分野苦戦
アジアで価格下落

炭素繊維市場。東レや帝人、三菱レイヨンがシェア7割。日本企業が圧倒的な強みを持つ。ただ、アジア向けスポーツ・レジャー用途は新興国の攻勢で価格下落が目立ってきた。(10面)

2月13日(水)

蛇の目、台湾で産口ボ
スマホ生産用の廉価版

蛇の目ミシン工業は、台湾工場で産業用ロボットを生産する。メーンの製品は卓上ロボット。低価格ミシンを生産する台湾でも産口ボの生産体制。スマホ生産用卓上タイプの廉価版。(7面)

クボタ、タイで小型トラクター
年4000台 / 畑作市場を開拓

クボタは、タイで30馬力未満の小型トラクターを現地生産し、畑作市場を本格開拓する。年30004000台。タイでは3047馬力の稲作用を中心、30馬力未満も現地生産で製造コストを低減。(8面)

旭化成、アジアに相次ぎ新工場
タイなど / 安い原料で競争力

旭化成が、アジアで安い原料を使った化学品工場を相次いで稼働している。タイでは紙おむつ原料を生産する新工場が本格稼働。夏にはシンガポールで低燃費タイヤ原料の工場が稼働する。(13面)

2月14日(木)

アジア・欧米に地域統括会社
三桜工業 / 権限を委譲

三桜工業は、米州とアジア、欧州に地域統括会社を2016年3月期までに設置し、日本と中国を加えた世界5種体制を構築する。現地主導の事業運営を進め、地域統括会社に権限を委譲。(5面)

タイでガスタービン発電2基
東芝プラント / 200億円以上

東芝プラントシステムは、タイでガスタービン複合発電(GTCC)プラントを受注した。アマタ・ナコーン工業団地に出力12万キロワットのプラント2基。受注額は200億円以上。(7面)



ミャンマーでニーズがあるのは商標制度(ヤンゴン市内のショッピングモール＝ブルームバーグ)

ミャンマー、知財の整備急ぐ
まず商標 デザイン 特許

日本企業がミャンマーに対し知的財産権制度の整備を求めている。日系企業が相次ぎ進出する中、ビジネス基盤を整えるには技術移転が必要。特許などの権利化が欠かせない。(深層断面＝28面)

東南アで製販拠点を拡充
精密・事務機器

精密・事務機器大手が東南アジアで製販拠点を拡充する。リコーはタイでカラー複合機を生産。富士ゼロックスはベトナム工場を着工。ニコンはインドネシアにデジタルカメラの販売会社。(10面)



生産管理クラウド、東南ア投入
クオリカ / 日系中小製造業向け

クオリカは、東南アジアで、中堅・中小企業向けのクラウド型生産管理システムを拡販する。同じITホールディングス傘下のインテックと連携、タイ進出の日系製造業に売り込む。(11面)

ミャンマー人技術者に研修
日立システムズ / DC技術

日立システムズは、海外産業人材育成協会と連携し、ミャンマーのIT技術者6人にデータセンター(DC)技術の研修を実施した。将来のITインフラ輸出促進につなげる。(11面)

日本で自動車用の鋼管
韓国ポスコ / 月産1000トン

韓国鉄鋼大手ポスコは、ポスコジャパンを通じ日本で自動車用の鋼管製造に乗り出す。月産約1000トン。日本企業との合弁会社を設立し、ポスコの三重県のコイルセンター内に加工拠点。(12面)

「ユニクロ」インドネシア進出
夏めど1号店

「ユニクロ」を展開するファーストリテイリングは、インドネシアに進出する。現地に三菱商事と合弁会社を設立、夏をめぐりに1号店。すでに中国、香港、

タイなどでアジア338店。(17面)

2月15日(金)

タイ工場の洪水対策が完了
旭化成ケミ / 受・配電設備を2階に

旭化成ケミカルズは、タイの高機能樹脂コンパウンド工場が洪水で浸水しても被害を最小限に抑える体制に。受電・配電設備を2階に移設。主要設備の押出機は分解して2階に移動可能に。(3面)

横浜ゴム、フィリピン工場拡張
年1250万本 / 欧米・東南ア輸出

横浜ゴムは、フィリピンで乗用車用タイヤ工場を拡張する。2014年にも生産能力を25%増の年1250万本に引き上げる。SUV用タイヤを北米や欧州、東南アジアに輸出する。(5面)

タツモ、ベトナム工場拡張
半導体搬送装置 / 生産能力4倍

タツモは、半導体搬送装置のベトナム工場を移転、拡張し3月稼働する。生産能力は約4倍。日本で製造する半導体プロセス装置についても大量受注が決まれば、ベトナム工場に移管する。(8面)

ビール大手、東南アに照準
M&A・提携で販路開拓

ビール大手が、国内で基幹ブランド強化や収益構造改革で利益を稼ぎつつ、その力を海外に振り向けている。東南アジアを中心に酒類や清涼飲料の需要に照準。M&Aや提携で販路開拓。(13面)

味の素、ASEAN・南米深耕
扱い商品広げる / ミャンマー年内進出

味の素は、海外事業展開で、ASEANなど東南アジアと南米市場の深耕に力を入れる。扱い商品の幅を広げて売り上げ増加を目指す。未進出地域では、ミャンマーに年内にも進出方針。(13面)

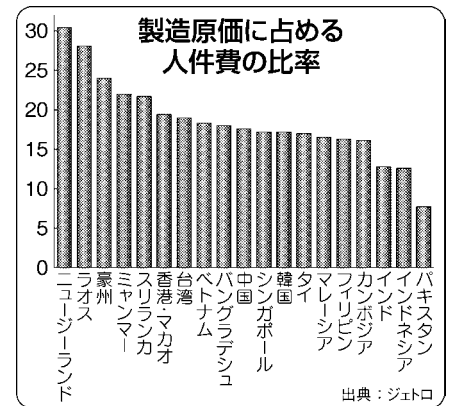
鉄道車両にワイヤレス給電
韓国国立大学

KAIST(韓国国立大学)と韓国鉄道技術研究院は、鉄道や物流など大量輸送システムへの応用を目的にしたワイヤレス給電技術を開発した。走行中の車両に60キロワットを非接触で給電。(20面)

2月18日(月)

インドネシア - 労働問題が頻発
賃上げデモ・ストライキ

インドネシアで、賃上げデモや労働ストライキが頻発に起きている。日系企業の組合員が工場を閉鎖し従業員を閉じ込め、トラブル解決しようとする行為も。日本大使館は注意を促す。(3面)



出典：ジェトロ

ミャンマーで三菱車を保守
三菱自・商事・現地企業など

三菱自動車と三菱商事、自動車ディーラーなどを手掛けるYSH(シンガポール)とFMI(ミャンマー)の4社は、ミャンマーで三菱車のアフターセールス事業に参入する。(6面)

タイにアジア統括会社
日邦産業 / 意思決定を迅速化

日邦産業は、タイ・バンコクにアジア地域の統括会社を2月下旬に設立する。日本から職務権限の一部を移し、中国やフィリピンなど海外子会社9社の意思決定の迅速化や内部統制の強化。(7面)

2月19日(火)

ホンダ、マレーシア販売83%増
6万4000台 / ディーラー5割増

ホンダは、2013年にマレーシアでの4輪車販売を83%増の6万4000台に。新モデルを投入するほか、販売、サービス、部品交換ができるディーラー網を3年以内に5割増の90店舗に拡大。(5面)

IHI、タイ第3工場
ターボチャージャー / 3.5倍280万本

IHIは、タイ東南部アタナコン工業団地に建設していた車載用ターボチャージャーの新工場が完成、2013年10月から量産を始める。第3工場として建設。生産能力は3.5倍の280万本。(5面)

粉体エンジ、東南アに展開
東洋ハイテック / マレーシア事務所

東洋ハイテックは、粉体プラントエンジニアリング業務を東南アジアで展開する。マレーシアに駐在員事務所を4月開設。現地のサプライヤー開拓などを進め、粉体プラントを提供。(6面)

村田製作所、タイで開発
新興国向けセンサー

村田製作所は、タイに新興国向けセンサーの開発拠点を2013年度にも設置する。国内にある開発や生産を含むセンサー事業部の一部機能をタイ子会社に移管して開設する。(8面)

フィリピン新工場を稼働
NECトキン / 車載用リレー

NECトキンは、フィリピンで車載用リレーの新工場を稼働した。既存工場近郊に新工場を借り受け、ラインを増設。生産能力を月1000万個から1440万個に引き上げる。(8面)

東洋インキ、インド合併
黄色有機顔料 / 年産2000トン

東洋インキSCホールディングスは、インド・グジャラート州に印刷インクなどに使う黄色有機顔料を製造販売する合弁会社を設立、2014年5月に商業生産を始める。年産能力は2000トン。(10面)

2月20日(水)

ユタカ技研、タイに新工場
トルクコンバーター月産3万6000個

ユタカ技研は、タイに排気系や駆動系の4輪車部品の新工場を2014年に建設する。ホンダの現地回復とタイ全体の需要増。トルクコンバーターが月産能力3万6000個など。(6面)